

整理番号 2018M-031

補助事業名 平成30年度 国際工作機械技術者会議の開催 補助事業

補助事業者名 (一社) 日本工作機械工業会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

最先端の生産加工・工作機械に関する研究開発成果を明らかにし、IoTを活用した次世代のものづくりのあり方とその実現に必要な工作機械について、製造業に従事する様々な技術者に情報を提供することで、新たな技術創出の懸け橋となり、工作機械産業ひいては製造業全体のブレークスルーを図る。

### (2) 実施内容

#### ①国際工作機械技術者会議の開催 補助事業

(URL) <http://www.jmtba.or.jp>

2018年11月4日～5日まで、東京国際展示場（東京ビッグサイト）にて開催されたJIMTOF2018（第29回日本国際工作機械見本市）に併せ、本見本市期間中の11月4日・5日の2日間に亘り、東京ビッグサイト会議棟 レセプションホールAにおいて第18回国際工作機械技術者会議（IMEC2018）オーラルセッションを、11月1日～6日まで、東京ビッグサイト 東7ホールにおいて〃会議ポスターセッションをそれぞれ開催し、いずれも盛会裡に閉会した。



講師の講演中の風景



講演後の質疑応答

## 2 予想される事業実施効果

今回会議では「見えてきた未来のものづくり」を総合テーマとして開催したが、将来に亘って製造業の競争力を維持していく上での産官学連携の枠組みはどのような形であるべきか、また、IoT（Internet of Things）・AIを駆使した生産方式への変革、いわゆる第

4次産業革命と呼ばれる時代にいかなる生産システムを検討すべきか、この他、急速な進展を遂げているAdditive Manufacturing（積層造形）技術の導入や、従来の概念に囚われない工作機械の新しい設計概念等を取り上げ、世界をリードするための先進的研究開発を検証する重要な機会となった。

工作機械技術を含めた新たな次世代製造システムの実現は、あらゆる産業製品の高度化に寄与するとともに従来に無い革新的な生産・加工技術が創出されることで、実現が困難とされていた製品の創出・拡大が期待できる。2年に1度、国内外の講師を招聘して、世界の先端研究開発に関して情報交換を行い、課題を共有することにより、広く製造業全体の競争力強化に寄与するものと期待される。

### 3 補助事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

- ・ 第18回国際工作機械技術者会議 論文集（日本語版）

(URL) 無



- ・ The 18th International Machine Tool Engineers' Conference (IMEC2018) "Proceedings"

(URL) 無



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

第18回国際工作機械技術者会議 結果報告

(URL) [http://www.jmtba.or.jp/wp-content/uploads/工作機械2019\\_01月\\_p19-p231.pdf](http://www.jmtba.or.jp/wp-content/uploads/工作機械2019_01月_p19-p231.pdf)



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：一般社団法人 日本工作機械工業会

(イッパンシャダンハウジン ニホンコウサクキカイクウギョウカイ)

住 所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館

代 表 者： 会長 飯村 幸生 (イイムラ ユキオ)

担当部署： 技術部 (ギジュツブ)

担当者名： 笹川 哲平 (笹川 哲平)

電話番号： 03-3434-3961

F A X： 03-3434-3763

E-mail: [sasagawa@jmtba.or.jp](mailto:sasagawa@jmtba.or.jp)

U R L: <http://www.jmtba.or.jp/>